

- 中核法人である（一社）大和飛鳥ニューツーリズムにおいて海外も含めた教育旅行を受入れし、民間企業（株）J-rootsにおいて若年層・外国人の個人旅行客をターゲットに受入。
- （一社）大和飛鳥ニューツーリズムでは年間6,000泊以上の教育旅行の受入を実施し、（株）J-rootsの運営するゲストハウスにより、若年層やインバウンドの個人旅行客についても受入数を伸ばす。

【地域の概要】



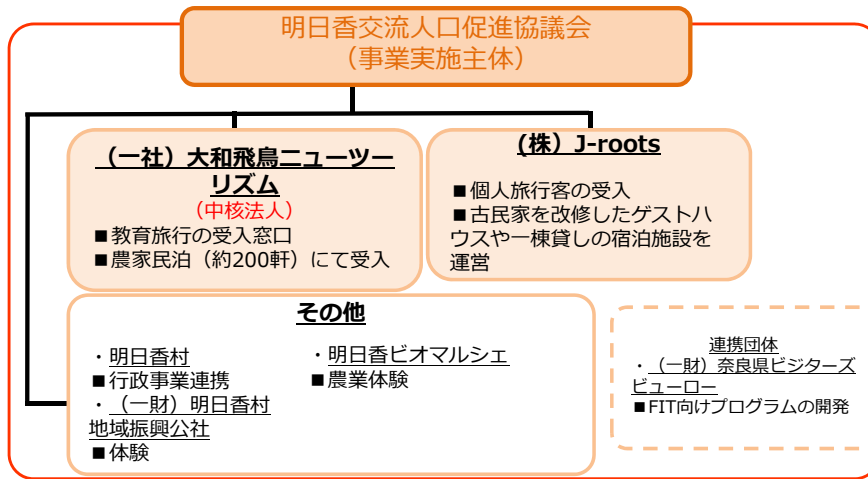
＜地域の特徴＞

- 「日本国誕生」を示す多くの史跡・重要遺跡が集積し、村全域が古都保存法の指定を受けている。
- 「明日香法」※により、ホテルなどの宿泊施設の建設が困難。
- 明日香村と京都大学とで社会連携を結んでいる。

※「明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法」



【実施体制】



＜中核法人＞

- 人口減少や地域を潤す産業の不在という状況のなか、観光関連産業の振興による地域の商工業の活性化を目指し、H23に中核団体である「飛鳥ニューツーリズム協議会」を設立し、H30に（一社）大和飛鳥ニューツーリズムとして法人化。商工会からも経営指導者が参画。ホームステイ型教育旅行（飛鳥民家ステイ）の受入窓口を担い、特に海外からの受入が過半数を占める。

＜(株) J-roots＞

- H25に商工会ならびに飛鳥ニューツーリズム協議会の関係者を株主とした株式会社を設立。
- 地域住民のほか、京都大学ビジネススクール（マーケティングについて助言）や商工会（インバウンド対応サポート）と連携し、運営。



【取組内容】

＜宿泊＞

- 教育旅行については、民泊（約200軒）にて教育旅行の受入を実施。今後は交流を重視する個人旅行者の受入にも対応予定。
- 個人旅行については、空き家を活用したゲストハウスや1棟貸しの設立により、今までにない新しい層（若年層、外国人）をターゲット。ネット予約体制のほかWi-Fiやレンタサイクルも整備。

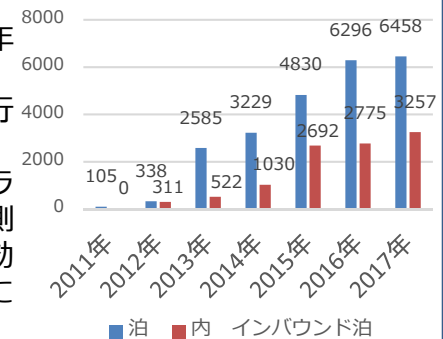


教育旅行
マレーシア高校生

＜(一社) 大和飛鳥ニューツーリズム＞

- 一般的な教育旅行との差別化を図るため、地域住民との交流を重視したホームステイ型の受入を実施。
- 受入数は年々増加し、現在では年間6,000泊以上の受入実績を誇り、その過半数をインバウンド教育旅行が占める。
- 受入先家庭の情報について、クラウドデータベースを構築し、運営側で共有することにより、安全かつ効率的に運営し、顧客の満足度向上につなげる。

教育旅行受入実績



(出典) 協議会への聴き取り

＜(株) J-roots＞

- 空き家改修の資金を外部資金（クラウドファンディングや融資等）により調達。
- 「顧客の獲得・消費拡大・地域認知度向上」を最大の目的として運営。
- 単事業として初年度より黒字経営を達成。